

「交通広告グランプリ 2025」各賞が決定！

グランプリに輝いたのは・・・

株式会社創味食品『焼肉の部位ジャック広告』



JR 山手線 1 編成をジャックした、思わず焼肉が食べたくなってしまうような
空間プロデュース部門の作品がグランプリに輝きました！

「交通広告グランプリ 2025」（主催：(株)ジェイアール東日本企画、協賛：東日本旅客鉄道(株)、JR 東日本メディア(株)、後援：(公社) 日本鉄道広告協会）の受賞作品が決定し、本日（7 月 31 日）ホテルメトロポリタン池袋にて贈賞式が行われました。

最高賞であるグランプリは、空間プロデュース部門より、株式会社創味食品『焼肉の部位ジャック広告』が受賞いたしました。

各部門の最優秀部門賞、JR 東日本賞は下記 7 作品が受賞しました。

- ・ 駅メディア部門は株式会社タミヤの『TAMIYA PLAMODEL FACTORY TOKYO 開業広告』
- ・ 駅ポスター部門は公益財団法人 ベルマーク教育助成財団の『良い行いは、きっと誰かが見ているよ。』
- ・ 車両メディア部門は花王株式会社の『家族と愛とメリット』
- ・ デジタルメディア部門は日清紡ホールディングス株式会社の『企業 CM『歌おう！ニッシンボー』シリーズ第 6 弾「ネコ」篇』
- ・ 空間プロデュース部門は KDDI 株式会社の『抱きつき UQ ガチャムク』
- ・ メディアプロモーション部門は味の素冷凍食品株式会社の『超ギョーザステーション』
- ・ JR 東日本賞は株式会社テレビ東京の『「劇映画 孤独のグルメ」 腹が減る広告』

【受賞作品数】 計 38 点

※グランプリ 1 点、各部門より最優秀部門賞 1 点、優秀作品賞 5 点及び、JR 東日本賞 1 点の計 38 作品を選出しました。

部門	最優秀部門賞	優秀作品賞	対象ユニット
駅メディア部門	1	5	駅サインボード、SP メディア（※集中貼りを除く）、大型駅ポスター
駅ポスター部門	1	5	駅ポスター、集中貼り
車両メディア部門	1	5	中づり、まど上、ドア横、ステッカー等の車両ポスター
デジタルメディア部門	1	5	車両デジタルメディア、駅デジタルメディア、街ナカサイネージ
空間プロデュース部門	1	5	新宿ウォール 456、AD トレイン、新宿 BBB 等
メディアプロモーション部門	1	5	媒体の特性を生かした展開や、交通媒体を基点とした複合的なプロモーション展開

賞名		広告主名	タイトル
グランプリ		株式会社創味食品	焼肉の部位ジャック広告
駅メ デ イ ア 部 門	最優秀部門賞	株式会社タミヤ	TAMIYA PLAMODEL FACTORY TOKYO 開業広告
	優秀作品賞	アディダス ジャパン株式会社	SS24 T-TOE COLLECTION
		麒麟ビール株式会社	辞書で引く、聖獣麒麟
		株式会社栗山米菓	どうやらうまいらしい
		朝日放送テレビ株式会社	M-1 グランプリ2024 歴代王者集合
		公益財団法人石橋財団 アーティゾン美術館	ジャム・セッション 石橋財団コレクション×毛利悠子ーピュシスについて
駅ポ ス タ ー 部 門	最優秀部門賞	公益財団法人 ベルマーク教育助成財団	良い行いは、きっと誰かが見ているよ。
	優秀作品賞	株式会社バルコ	PARCO HAPPY HOLIDAYS 2024
		株式会社エドウィン	いいジーパン穿こうぜ
		A Y & J	爪パンツ
		東京都現代美術館	翻訳できないわたしの言葉
		株式会社講談社	煩惱ブックフェア 2024
車両 メ デ イ ア 部 門	最優秀部門賞	花王株式会社	家族と愛とメリット
	優秀作品賞	株式会社タカラトミー	ブラレール65周年「ワクワクをつなごう。」
		学校法人 東京女子大学	正解がない時代に、問い続ける力を。シリーズ
		株式会社ブレインスリーブ	脳が眠る電車
		大塚製薬株式会社	「背中を押してくれるもの」篇
		サントリーホールディングス株式会社	クラフトボス 甘くないイタリアーノ 24年4月
デ ジ タ ル メ デ イ ア 部 門	最優秀部門賞	日清紡ホールディングス株式会社	企業CM『歌おう！ニッシンボー』シリーズ第6弾「ネコ」篇
	優秀作品賞	イケア・ジャパン株式会社	どんな想像にも、手が届く。さいこうのベッド篇
		大塚製薬株式会社	「みんな巨人 幅跳び」篇
		ラフォーレ原宿	LAFORET GRAND BAZAR SUMMER 2024
		公益財団法人東京観光財団	How to “Hello Tokyo”Tour
		株式会社カネボウ化粧品	KATE リップモンスター「かぶりつけ、欲のまま。」
プ ロ デ ュ ー シ ョ ン 部 門	最優秀部門賞	KDDI株式会社	抱きつきUQ ガチャムク
	優秀作品賞	サントリーホールディングス株式会社	クラフトボス 甘くないイタリアーノ 25年2月
		株式会社スクウェア・エニックス	その1ピクセルに、ファンタジーが詰まっている。
		全国都道府県及び全指定都市	宝くじ「クイックワン」 幸運広告
		2024「帰ってきた あぶない刑事」製作委員会	映画「帰ってきた あぶない刑事」
		株式会社ポーラ	ポーラ リンクルショット メディカル セラム デュオ-Dive to Wrinkle-
プ ロ モ ー シ ョ ン 部 門	最優秀部門賞	味の素冷凍食品株式会社	超ギョーザステーション
	優秀作品賞	株式会社講談社	STICKER ART by WIND BREAKER
		日本テレビ放送網株式会社	HAKONE EKIDEN
		サントリーホールディングス株式会社	GINGER SHOT+
		麒麟ビール株式会社	これが、これからの麒麟ビール※ 麒麟ビール 晴れ風 ※新定番
		独立行政法人 日本スポーツ振興センター	12億の案内人、億山登場
J R 東日本賞	株式会社テレビ東京	「劇映画 孤独のグルメ」 腹が減る広告	

【審査作品数】 計 1,654 点

【弊社コーポレートサイトでの受賞作品紹介】

弊社コーポレートサイト内の特設サイトにて、受賞作品の紹介をおこなっております。ぜひご覧ください。

「交通広告グランプリ2025」特設サイト ⇒ <http://awards.jeki.co.jp/>

◆ 「交通広告グランプリ 2025」概要 ◆

主催 : 株式会社ジェイアール東日本企画
協賛 : 東日本旅客鉄道株式会社、JR 東日本メディア株式会社
後援 : 公益社団法人日本鉄道広告協会

【応募対象】

2024年4月1日から2025年3月31日までに、(株)ジェイアール東日本企画が販売・管理を行っている駅および車両(「JR 東日本」「つくばエクスプレス」「ゆりかもめ」「りんかい線」「JR 貨物」「しなの鉄道」および「東京モノレール」)のメディアならびに「街ナカサイネージ」に掲出・放映された広告作品

【応募部門】

- (1) 駅メディア部門
- (2) 駅ポスター部門
- (3) 車両メディア部門
- (4) デジタルメディア部門
- (5) 空間プロデュース部門
- (6) メディアプロモーション部門

【応募資格】

上記【応募対象】にご出稿いただいた広告主・広告会社・制作会社および制作者の方
(自薦・他薦いずれも可)

【審査日】

2025年5月1日(木)～2025年5月26日(月)

【審査員】

審査員長	仲畑 貴志	様	コピーライター/クリエイティブディレクター
審査員	川口 清勝	様	アートディレクター
"	副田 高行	様	アートディレクター
"	田中 里沙	様	事業構想大学院大学学長
"	照井 晶博	様	コピーライター/クリエイティブディレクター
"	国井 美果	様	コピーライター/クリエイティブディレクター
"	上西 祐理	様	アートディレクター/グラフィックデザイナー
"	杉田 知洋江	様	フォトグラファー
"	竹島 博行	様	東日本旅客鉄道株式会社 執行役員/マーケティング本部 副本部長

※2025年5月末時点

お問合せ先

(株)ジェイアール東日本企画 メディアソリューション本部内「交通広告グランプリ」事務局

Mail : taa@jeki.co.jp

◆ 歴代のグランプリ受賞作品 ◆

- 2006年 森永乳業株式会社『Lipton 2005 summer』
- 2007年 ソフトバンクモバイル株式会社『PANTONE ケータイ』
- 2008年 株式会社日本放送出版協会『NHKテキスト「きょうの料理」放送 50 年キャンペーン』
- 2009年 株式会社ショウゲート『私がクマにキレた理由』
- 2010年 株式会社白夜書房『内田裕也 俺は最低な奴さ』
- 2011年 福井市『一乗谷 DISCOVERY PROJECT』
- 2012年 株式会社ビームス『ビームス 35 周年「恋をしましょう」クリスマスキャンペーン』
- 2013年 大塚製薬株式会社『とどけ、熱量。』
- 2014年 株式会社日本経済新聞社『日経電子版 やわらか経済NEWS』
- 2015年 公益財団法人ユニジャパン『第 27 回 東京国際映画祭』
- 2016年 グラクソ・スミスクライン株式会社『ワキの多汗症は、お医者さんへ。』
- 2017年 株式会社ポーラ『Pola Dots Train』
- 2018年 薩摩酒造株式会社『白波 この地球の日々たちへ。』
- 2019年 凸版印刷株式会社『IMAGINE 2020 Printed By TOPPAN「2020 年夏、42.195km。」』
- 2020年 アディダス ジャパン株式会社『速さは、ひとつじゃない。』
- 2021年 株式会社クレディセゾン『「落としたコイン・男性」篇 「落としたコイン・女性」篇』
- 2022年 サントリーホールディングス株式会社 『「青空みたいな星で。」篇』
- 2023年 日本チューインガム協会 『よく噛んで生きよう。』
- 2024年 Netflix 合同会社 『ジャイアント猿桜像』

2025年 株式会社創味食品 『焼肉の部位ジャック広告』

◆ 「交通広告グランプリ」 の経緯 ◆

「交通広告グランプリ」の原点は、1956年（昭和31年）から開催された「秀作車内ポスター展」まで遡ります。同展は東京近郊の国鉄・私鉄・都電に掲出された車内ポスターの中から選ばれた優秀作品が一堂に会する、当時としては大規模な広告展示会でした。「国鉄広告展」、新幹線の車内や駅を対象とした「新幹線広告展」が相次いでスタート。それらを段階的に統合する形で、1989年（平成元年）に(株)ジェイアール東日本企画主催による「JR東日本ポスターグランプリ」が誕生しました。2006年（平成18年）にJR東日本の他、つくばエクスプレス、りんかい線、ゆりかもめ、JR貨物、しなの鉄道に掲出された作品も審査対象として、「交通広告グランプリ」に名称を変更しました。